

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期 「自動運転（システムとサービスの拡張）」における 東京臨海部実証実験の概要について

東京臨海部実証実験の概要

1. 主催

SIP自動運転(システムとサービスの拡張) 推進委員会

2. 実施の目的・趣旨

一般道における信号情報や高速道における合流支援情報など交通インフラを活用した協調領域における自動運転技術の検証

交通インフラを活用した実証実験の機会や場、必要な実証用機器等の提供により、我が国における研究、技術開発を活性化

オープンな場でより多くの目で評価し、今後の研究開発にフィードバック
海外メーカー等を含め、国内外に参加を呼び掛け、国際標準化、更なる産学官協調を促進。また、社会受容性の醸成等に貢献

3. 実施スケジュール

2018年11月13日(本日) 実施概要の公表

同11月下旬～2018年12月

実験計画詳細(技術仕様)、参加募集要項の作成、関係者調整

2019年1月頃～参加募集(公募)、現地準備

2019年後半頃～2022年度末 実証実験を実施

(詳細な実施時期は別途)

4. 実施予定エリア

臨海副都心地域(一般道)

羽田空港地域(一般道)

羽田空港と臨海副都心等を結ぶ首都高速道路(一般道を含む)

5. 参加者(想定)

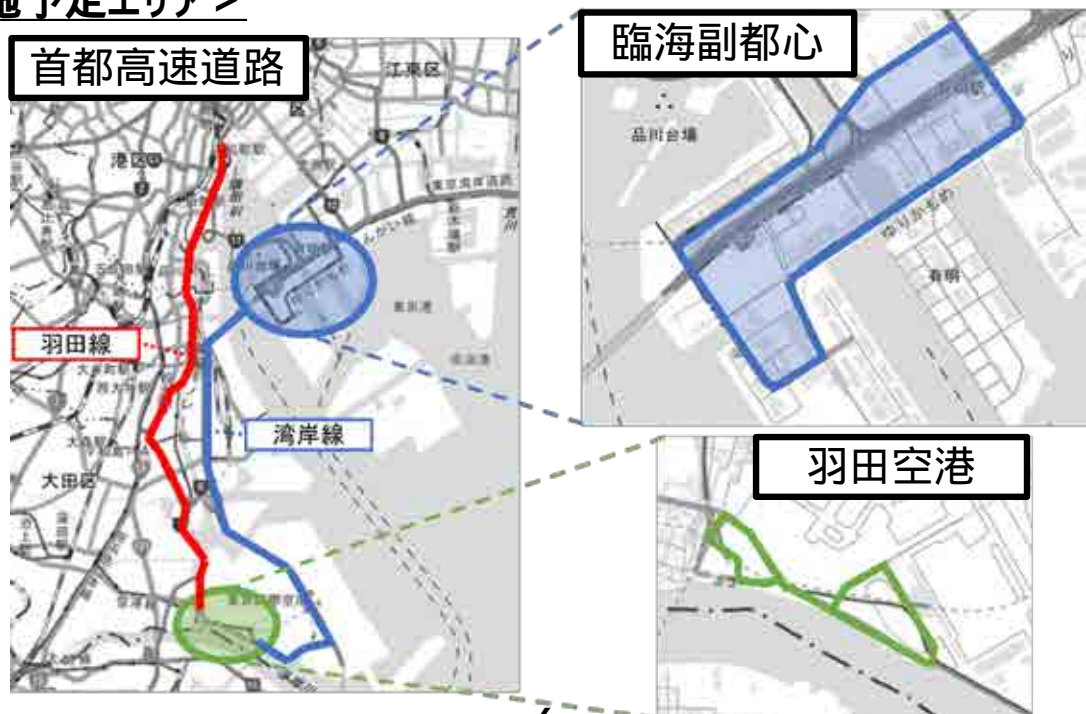
国内外の自動車メーカー、部品メーカー、大学・研究機関 等

(持込車両、試験要員、車両保険等の経費は参加者が負担)

6. 主な実施内容

	提供する実証実験環境 (予定)	参加者に期待する実証内容 (例)
臨海副都 心地域	<ul style="list-style-type: none"> ・信号(無線路側機)からの信号情報提供環境 ・信号情報とリンクした高精度3次元地図 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・信号情報を用いたスムーズな自動走行制御の検証 ・高精度地図との連携、一致性検証
羽田空港 地域	<ul style="list-style-type: none"> ・信号(無線路側機)からの信号情報提供環境 ・磁気マーカ路線 ・仮設バス停 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・信号情報を用いたスムーズな自動走行制御の検証 ・磁気マーカによる自車位置計測システム、正着制御の検証 ・立席に配慮した加減速制御の検証
羽田空港と 臨海副都 心等を結ぶ 首都高速 道路	<ul style="list-style-type: none"> ・合流支援情報提供環境 ・ETCゲート情報提供環境 ・車線別交通規制情報提供環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・首都高速道路本線への合流支援情報提供に必要な車両検知器等の要件の検証 ・利用可能なETCゲートの情報提供内容やタイミングの妥当性検証 ・車線別交通規制情報の活用検証
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・車載機(信号情報、合流支援情報等)(希望者のみ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の実証実験での準天頂衛星を活用した自己位置推定技術の検証

<実施予定エリア>



[参考] SIP自動運転（システムとサービスの拡張）

< 実施体制 >

総合科学技術・イノベーション会議
(CSTI)

ガバナリングボード

プログラム統括

課題ごとに以下の体制を整備

PD(プログラムディレクター)
(内閣府に課題ごとに置く)

推進委員会
PD(議長)、
内閣府、関係省庁、外部専門家
【管理法人】NEDO

関係省庁・研究主体

○ SIP 自動運転

(略称：SIP-adus)

Cross-Ministerial

Strategic Innovation Promotion Program
Innovation of Automated Driving
for Universal Services

○ 研究開発予算等

平成30年度：約30億円

(PD取りまとめの下、関係省庁
(警察庁、総務省、経産省、国交省、他) 等が連携して推進)

「自動運転」プロジェクト

(見直しの可能性あり)

